

日本看護系学会協議会
ニュースレター
JANA

第 13 号
2010年2月22日 発行
編集発行
日本看護系学会協議会
(事務局) 〒252-8530
神奈川県藤沢市遠藤4411
慶應義塾大学 看護医療学部内
日本看護系学会協議会 事務局
E-mail: jana-jimukyoku@sfc.keio.ac.jp
FAX: 0466-49-6225

～文部科学研究費の獲得状況と課題～



日本看護系学会協議会理事（学術振興会担当）
島内 節

看護系学会に所属する研究者は看護系大学の教員が多い。文部科学研究費は、看護研究者にとって最も重要なものである。大学の急速な増加とともに、申請数が増え、比例して採択数も増加している。

看護学の研究費分野は、16～19年度は3分野（基礎、臨床、地域・老年看護学）であり、20年度から生涯発達看護学が加わり4分野になっている。看護の役割や活動の拡大に伴い、看護研究の範囲も拡大している。平成16～21年度の全体の科学研究費の採択割合は22.7%～24.3%であった。看護系大学への配分額の割合は0.53～0.96%であった。

看護学分野の科研採択件数の年次推移は、図1に示したように、年次を追って各分野ともに増加している。臨床看護から生涯発達を分離した

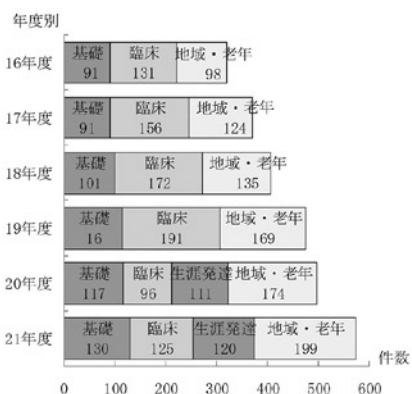


図1. 看護学の年度別研究分野別採択件数

ため20～21年度の臨床看護研究が減少のようにみえるが、生涯発達をプラスすれば増加といえる。分野間でみると地域・老年看護

が199件が多い。

看護分野の研究種目別採択件数は、いずれも増加しているが、その採択件数は基盤Cが最多で21年度243件、次いで若手B187件、若手スタート

アップ44件、基盤B42件である。基盤S、基盤Aへの申請も採択も非常に少ない、またはほとんどない。これらに積極的に研究者を組織化してまず申請する必要がある。

すべての看護系大学や研究所関係に所属する看護職者は、全員がまず申請すること、一方科研費を獲得している人は、継続的に獲得する努力を重ねる必要がある。

採択のポイントは、何について研究するか、研究の目的（研究の必要性・その成果）であり、この研究に関連する国内・国外の研究状況、研究の特色、独創的な点、申請者のこれまでの研究歴、研究業績も審査されるので、日頃の研究の積み重ねが重要である。

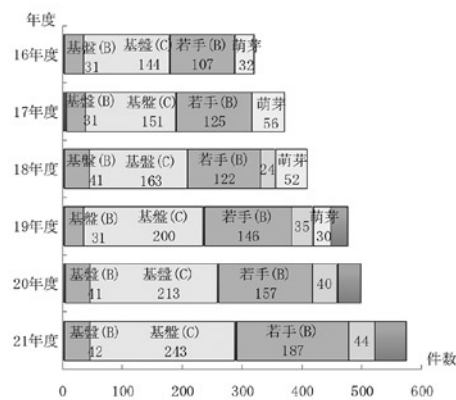


図2. 研究種目別採択件数

看護キャリア発達に向けての学会の役割 日本看護系学会協議会第11回シンポジウム

司会 遠藤 俊子・野嶋 佐由美

わが国の医療改革として、少子高齢化の進展、医療技術の進歩、国民意識の変化、多職種間の連携と協働等、医療システム全般の見直しが求められ、とりわけ看護の役割拡大への期待が大きい昨今です。一方、看護教育の大学化は、看護の

生涯教育を著しく進展させ、また看護系学会の数、そこに所属する会員数や研究発表から、学術的な進歩や、看護の専門性は着実に向上してきています。

このような時代背景を踏まえて、看護系学会協議会と日本

学術会議看護学分科会とともに、第11回シンポジウム「看護キャリア発達にむけての学会の役割」と題し、精力的に取り組んでおられる3学会役員をシンポジスト迎え、学会が看護のキャリア発達にどのような役割を果たしているのか、実態と課題を討議しました。

3つの学会に共通していることは、『学会誌の刊行』、『学術集会の開催』、『教育研究活動』、『委員会活動』、『国際交流活動』ですが、その内容のすばらしさに多くの参加者は感動と共に、自分の所属する学会への刺激だったのではないのでしょうか。

例えば、『教育研究活動』では、がん看護学会ではコアカリキュラムの作成やテキストの作成、糖尿病教育・看護学会では、糖尿病に強い看護師育成のためのカリキュラム作成や研修の実施など、学会はその専門分野の看護師の教育、専門・認定看護師の教育のみならずその領域のジェネラリストのための教育を組み立て実施しています。また、専門分野ではさらなるサブスペシャリティが生まれています。その開発や教育にも目が見張るものがありました。

次いで、『委員会活動』の活動の今をとらえた迅速さがあります。政策委員会あるいはプロジェクトとして、データを蓄積・分析・評価し、診療報酬や研究費獲得など行政との接

触をもちながら挑戦をするなど、超多忙の中にも、次のキャリアを育てる土壌を作り、種まきする姿には脱帽でした。例えば、小児看護学会では、成果のあがっているトリアージの他にも、子どもを取り巻く環境では、学校の中での特別支援学級などの新たな活動の場で働く看護師の支援に取り組むなど心強いものがあります。

看護師が看護専門職者として生涯に亘って、自己実現に向けて看護の専門性を積みながら生きているという個人のキャリア発達とともに、看護専門職としての自律性を磨く場であり人間的な魅力を豊かにするアカデミックコミュニティとしてのキャリア発達を学会自体も遂げているのではないかと提案していただいた小松浩子副理事長の言葉が、今回のシンポジウムの要約であろうかと思われます。



シンポジウムの様子



遠藤俊子氏、野嶋佐由美氏



日本小児看護学会との取り組みと今後の方向性

片田 範子（日本小児看護学会）



日本小児看護学会は、小児看護に関する実践、教育及び研究の発展と向上に努め、それらを通して子どもの健康増進に寄与することを目的とし、1991年に設立されました。現在の会員数は約1,700名、来年学会設立20周年を迎えます。

当学会での看護キャリア発達支援としては、大きく4点に絞られると

考えます。

1. 新たな活動の場で働く看護師の支援

近年新たに求められている職場において、質の高いケアが提供できるための支援です。例えば今期では特別支援学校に雇用される看護職に焦点化しています。看護師の専門性や必要となる能力を具現化し、ガイドラインの作成ならびに研修会を行い、学校という環境で専門性を発揮するための能力開発や支援を行っています。

2. 小児看護に携わる看護師に必要な資質の発掘と育成

子どもの健康問題や課題は急速に変化しています。社会が求めている小児看護の資質や必要となる教育プログラムの開発等の支援を行っています。例えば、小児救急の課題に対応するため、小児救急認定看護師制度の提案と策定、その後の支援もその一つです。また、改正臓器移植法施行(2010年)に向けて、学会としてドナー・レシピエント双

方の子どもの擁護する必要性を見解として公表しました。今後は臓器移植にかかわる看護職の支援体制の強化を今後の課題として挙げています。その他、臨床における日常的なケア倫理の課題についてのガイドラインも公表します。

3. 小児看護における新たな看護の意識・知識・技術を提供し、看護師ひとりひとりの意識改革、資質の向上

毎年開催しています学術集会や地方会がこれに当たる事業です。発表の場を提供するとともに、会員の関心が高いテーマを設定し、会員の資質・意識の向上を支援しています。専門看護師の存在とその能力を垣間見る機会となると考えています。

4. 会員の研究活動の推進

学会誌の出版が一番大きな事業ではありますが、ここ数年吉武名誉会員の寄付により、臨床で働く看護師の研究支援制度を特別事業として行っています。研究助成制度は、研究公募から採択の間には、研究計画書の作成や研究倫理に関する対応を行い、研究終了後の研究発表まで、臨床看護師に必要な研究能力を支え育む機会となっています。2010年度からは研究助成制度は継続します。また小児看護実践の示唆が大きく、研究活動の発展が期待される優れた研究論文を表彰する研究奨励賞制度を新設します。これは、研究者として他者評価を公に受ける機会となり、研究者の新たな研究活動の活力になるといえます。

日本糖尿病教育・看護学会の取り組み

数間 恵子（日本糖尿病教育・看護学会）

日本糖尿病教育・看護学会は1996年に、糖尿病教育の向上に貢献することを目的に設立された。本学会が糖尿病教育に関わる看護職のキャリア発達において果たしてきた役割について、糖尿病関連の資格という視点で整理して述べる。

まず、日本糖尿病療養指導士があり、これは本学会設立の背景ともなったものである。本学会は、日本糖尿病学会、日本病態栄養学会とともに日本糖尿病療養指導士認定機構の設立母体となり、2001年に初回認定が行われ、これまでに看護職の療養指導士約7,000名が輩出されている。本学会では看護職の療養指導士の質の向上と資格更新のための研修を多数企画・実施している。

糖尿病看護認定看護師に関しては、認定看護師委員会を設置して日本看護協会にカリキュラム（案）の提供などの支援を行い、2001年の教育開始となった。現在までの認定数は201名に達した。

専門分野（糖尿病）における実践能力の高い看護師は、2006年に厚生労働省の「健康フロンティア戦略」の一環として、看護課によって予算化された看護職員資質向上対策事業によるものである。本学会はその事業支援を目的とし

て特別委員会を設置し、研修引き受け施設への働きかけ・交流会の開催、研修標準プログラムの策定、標準テキストの作成などを行ってきた。今年度までの研修修了者は約200名である。

2008年の診療報酬改定では本学会の活動が功を奏して「糖尿病合併症管理料」が評価された。その算定要件の充足を目的とした「糖尿病重症化予防（フットケア）研修」の標準プログラムと記録様式を策定し、公開している。2年間における本学会主催・共催・共同企画の研修は19で、約1,000名が受講した。

糖尿病看護認定看護師、慢性疾患専門看護師は、上記の事業に積極的に関与しており、そのことがキャリア発達をより促しているとともに、各資格の更新にも寄与している。また、本学会では、上記以外にも多数の研修や学術集会、学会誌刊行を行い、看護キャリア発達が継続されるよう支援している。



日本がん看護学会の取り組み

小松 浩子（日本がん看護学会）



本協議会主催で開催された「看護キャリア発達に向けての学会の役割」のシンポジウム（2009年11月28日：幕張メッセ）で、日本がん看護学会の取り組みについて発表する機会を頂きました。発表した内容を下記のようにまとめました。各学会でバトンタッチしながら看護キャリア発達に関する活動の紹介が続くことを期待しています。

1. 看護キャリア発達とは

まず、分かっているようで分りにくい看護キャリア発達について次のように理解しました。

キャリア：個々人が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係づけや価値付けの累積（文部科学省）。

看護キャリア発達とは、「看護師が看護専門職者として生涯にわたり自己実現において看護専門性の向上と価値付けを紡ぎながら生きていくこと」を指しているように思います。学会は看護専門職者としての自律性を磨き、人間的な魅力を豊かにするコミュニティといえます。日本がん看護学会が現在、会員個々人のキャリア発達実現にむけて行っている活動は以下にまとめることができます。

2. 日本がん看護学会におけるキャリア発達支援事業

日本がん看護学会の組織活動を図1に示しました。

会員個々人のキャリア発達を支援する活動は、教育研究活動委員会の活動に集約できます。教育活動委員会の目的は、会員の教育研修ならびにがん看護発展への貢献を目的とした研究の計画、実施、評価することです。

図2に教育研究活動委員会の活動を示しました。忘れてならないのは、学会組織において会員同士により自律的にキャリア発達ができる仕組みをつくることです。本学会の核となるのは、日本看護学会特別関心グループ（SIG）です（図3）。教育研究活動委員会とSIGが有機的に連携し、さらに学会外の組織（日本専門看護師連絡協議会がん看護CNSグループ）と協働することで、地域におけるがん看護研修を底上げする活動も行っています。

●●● 教育研究活動委員会

目的：会員の教育研修ならびにがん看護発展への貢献を目的とした研究の計画、実施、評価。

1. キャリアアップ支援事業
がん看護シンポジウム・教育セミナー、アドバンスセミナー
がん看護領域の認定看護師・CNキャリアアップ支援事業
2. がん看護領域の教育課程、教育プログラムの開発事業
がん看護認定看護師専門分野の認定申請
（緩和ケア、がん性疼痛看護、がん化学療法看護、乳がん看護、がん放射線療法看護）
がん看護実践に強い看護師育成事業計画・推進
3. コアカリキュラム開発事業
がん看護コアカリキュラム日本協議会（米道看護看護学会）
がん看護コアカリキュラム作成
4. 新規研修企画・運営事業
リンパ浮腫の予防に対する患者教育・指導に資する看護研修
5. 教育実践助成の発注事業
小林がん学術振興財団による国際がん看護教育セミナーの実施

●●● 日本がん看護学会

目的：がん看護に関する実践、教育、研究の発展と向上に努め、人々の健康に寄与する（1987年発足）

会員数：3683名（2009.9.30）

活動：



図1

このような活動を継続するには、ビジョンと資源が必要であり、柔軟でしなやかな組織力が必

図2

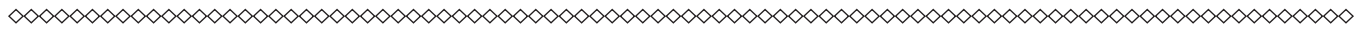
須です。学会は営利団体ではないので経済的な資源には限りがありますが、人材は宝庫です。豊富な人材により、学会員個人が自身の自己実現のみならず、同じ志をもつ専門職集団として組織自律的なキャリア発達をめざす組織文化や心躍る活動を生み出すことは可能です。活気を失いつつある社会、閉塞感を感じざるをえない医療システムの中で、看護師の役割拡大が今こそ求められています。看護専門職者としての自律性を磨き、人間的な魅力を豊かにするコミュニティとして学会が担う役割を、皆で考えましょう！

日本がん看護学会特別関心グループ (SIG)

目的: 会員が、自己の関心テーマに従って、志を同じくする者同士が集い、情報交換等を通じて切磋琢磨し、より専門に特化した自己研鑽の場を共有すると同時に、テーマに関わるがん看護の質向上のために貢献する

- がん看護専門看護師
- がん化学療法看護
- がん性疼痛看護
- ホスピスケア
- 乳がん看護
- スキンケア
- 臨床試験看護
- リンパ浮腫ケア
- 血液・骨髄幹細胞移植看護
- 遠伝がん看護
- がん放射線療法看護
- 外来がん看護
- 在宅がん看護

図3



NURSING SCIENCE CAFÉ 事業

日本看護系学会協議会では市民との対話や、次世代を担う人が看護学について情報を得る機会を提供することを目的として、Nursing Science Caféの支援を行っております。2009年に実施した学会は、日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本看護科学学会です。

今後この事業がさらに発展し各々の会員学会の特徴にあわせて実施されることで、看護の取組が一般市民に可視化されたり、次世代の育成に貢献していくことが期待されています。

企画や運営についてNursing Science Café事業の支援が必要な場合には、日本看護系学会協議会事務局までご連絡ください。

～日本看護系学会事務局からのお知らせ～

Nursing Science Caféに御来場いただいた方に差し上げる記念グッズを準備しております。グッズは、付箋と注射器型のマーカーです。今後も中学生・高校生の皆様と看護の専門家が集まって、語りあえる場としてNursing Science Caféを開設していただければと思います。グッズをご希望の場合は、①学術集会名・会期、②募集人数、③グッズの送付先、④メール等の連絡先を2010年3月末までに事務局宛てお知らせください。



参加者への提供グッズ

平成 22 年度総会のお知らせ

日 時：平成 22 年 6 月 12 日 (土) 13 時～ 15 時
 場 所：慶応義塾大学 信濃町キャンパス
 (東京都新宿区：JR 中央線・総武線「信濃町」
 駅下車徒歩約 1 分)
 会員学会のご参加よろしくお願いたします

『会員情報の広場』への記事募集

日本看護系学会協議会の HP 上に、『会員情報の広場』を構築いたしました。『会員情報の広場』では、会員学会主催の学術集会、研修会などのご案内を掲載させていただきます。掲載希望の会員学会は、「HP 上への会員情報の掲載希望」として、掲載記事（ポスターなどの PDF 形式ファイル等）を添付で事務局 jana-jimukyoku@sfc.keio.ac.jp までお送りください。

また、このたび、HP に RSS フィードを構築しました。会員学会におかれましては、RSS フィードを登録されることで、HP 上の情報の更新を素早くキャッチできますので、ご登録のほどよろしくお願いたします。

詳しくは、下記の JANA の HP をご覧くださいませ。
<http://www.jana-office.com/>

日本看護系学会協議会会員名簿 (平成22年 2 月 1 日現在)

会 員 名	会 員 名
・ 高知女子大学看護学会	・ 日本手術看護学会
・ 聖路加看護学会	・ 日本循環器看護学会
・ 千葉看護学会	・ 日本小児看護学会
・ 日本家族看護学会	・ 日本助産学会
・ 日本看護科学学会	・ 日本新生児看護学会
・ 日本看護管理学会	・ 日本腎不全看護学会
・ 日本看護技術学会	・ 日本生殖看護学会
・ 日本看護学教育学会	・ 日本精神保健看護学会
・ 日本看護教育学学会	・ 日本赤十字看護学会
・ 日本看護研究学会	・ 日本地域看護学会
・ 日本看護診断学会	・ 日本糖尿病教育・看護学会
・ 日本看護福祉学会	・ 日本難病看護学会
・ 日本看護歴史学会	・ 日本母性看護学会
・ 日本がん看護学会	・ 日本慢性看護学会
・ 日本救急看護学会	・ 日本ルーラルナース学会
・ 日本クリティカルケア看護学会	・ 日本老年看護学会
・ 日本災害看護学会	・ 日本看護医療学会
・ 日本在宅ケア学会	・ 日本看護倫理学会

【平成21-23年度 役員名簿】

会 長 太 田 喜久子
 副会長 (学術振興会) 片 田 範 子
 副会長 (庶 務) 小 松 浩 子
 理 事 (企 画) 遠 藤 俊 子
 理 事 (会 計) 数 間 恵 子
 理 事 (会 計) 河 口 てる子
 理 事 (学術振興会) 島 内 節
 理 事 (広 報) 田 中 美恵子
 理 事 (モデル事業) 手 島 恵
 理 事 (企 画) 野 嶋 佐由美
 理 事 (庶 務) 宮 脇 美保子
 理 事 (学 術 会 議) 南 裕 子
 監 事 川 嶋 みどり
 監 事 金 川 克 子

一編集後記一

本協議会主催の「高度実践看護師認定制度のあり方検討会」が1月31日(日)に聖路加看護大学において、会員学会の皆様を始め、多数のご参加のもとに行われました。この会議の議事録は近日中に本協議会HPに掲載予定ですので、詳しくはそちらをご覧ください。また、6月12日の総会後に第2段の「あり方検討会」を企画しますので、どうぞご期待ください。(広報担当理事 田中 美恵子)

日本看護系学会協議会会員学会

2010年1月31日 現在

	学会名	理事長	学 会 連 絡 先				ホームページアドレス		
			郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX		学会 E-mail	宛先 (担当者)
1	高知女子大学看護学会	松本 女 里	781-0111	高知県高知市池田2751-1 高知女子大学看護学部内	(088)-847-5524	(088)-847-5524		松本 女 里	http://www.kochi-wu.ac.jp/~nsgakkai/index.html
2	聖路加看護学会	山田 雅 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1	(03)-3543-6391	(03)-5565-1626		山田 雅 子	http://sinr.umin.jp/
3	千葉看護学会	宮崎 美砂子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部内		(043)-226-2421		増島 麻里子	http://cans.umin.jp/
4	日本家族看護学会	石垣 和 子	261-0014	千葉県千葉市美浜区若葉2-10-1 千葉県立保健医療大学健康科学部内	(043)-272-2869	(043)-272-2869	family_chiba_u_2007@yahoo.co.jp	石垣 和 子	http://square.umin.ac.jp/jarf/
5	日本看護科学学会	南 裕 子	113-0033	東京都文京区本郷3-37-3 富士見ビル201	(03)-5805-1280	(03)-5805-1281	jans-office@umin.ac.jp	南 裕 子	http://jans.umin.ac.jp
6	日本看護学教育学会	小山 眞 理 子	105-0012	東京都港区芝大門2-12-6 芝ハタビル402	(03)-5472-7455	(03)-5472-7465	jimukyoku@jane-ns.org	小山 眞 理 子	http://www.jane-ns.org
7	日本看護管理学会	鶴田 恵 子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内 日本看護管理学会事務局	(03)-3409-1290	(03)-3409-1290	janap@redcross.ac.jp	鶴田 恵 子	http://janap.umin.ac.jp
8	日本看護技術学会	小坂橋 喜久代	371-8511	群馬県前橋市昭和町3-39-22 群馬大学医学部保健学科 統合医療プロジェクト室内	(027)-220-8907	(027)-220-8907	jsnas@health.gunma-u.ac.jp	小坂橋 喜久代	http://www.jsnas.jp/
9	日本看護教育学会	永野 光 子	260-8672	千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学看護学部看護教育研究分野	(043)-226-2397	(043)-226-2397	jasne-office@umin.ac.jp	舟島 なをみ	http://jasne.umin.jp
10	日本看護研究学会	山口 桂 子	260-0015	千葉県千葉市中央区富士見 2丁目22番6号 富士ビル6階	(043)-221-2331	(043)-221-2332	jsnr@bridge.ocn.ne.jp	山口 桂 子	http://www.jsnr.jp
11	日本看護診断学会	江川 隆 子	160-0022	新宿区新宿1-15-11 イマキレビル階グローバルエクス プレス・国際会議センター内	(03)-3352-6223	(03)-3352-5421	jsnd@convention-access.com	藤村 龍 子	http://jsnd.umin.jp/
12	日本看護福祉学会	岡崎 美智子	607-8175	京都市山科区大宅山田町34 京都橘大学看護学部内	(075)-574-4251	(075)-574-4251	okazaki@tachibana-u.ac.jp	岡崎 美智子	http://kangofukushi.sakura.ne.jp/
13	日本看護歴史学会	芳賀 佐和子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)-3409-0613	(03)-3409-0589	yamazaki@redcross.ac.jp	山崎 裕 二	http://plaza.umin.ac.jp/~jahsn/
14	日本がん看護学会	佐藤 禮 子	650-8530	神戸市中央区港島1-3-6 兵庫医療大学看護学部内	(078)-304-3000	(078)-304-2714		鈴木 久 美	http://jscn.umin.jp
15	日本救急看護学会	中村 恵 子	164-0001	東京都中野区中野2-2-3 (株)へるす出版事業部内	(03)-3384-8030	(03)-3380-8627	jaen@herusu-shuppan.co.jp jaen-adm@umin.ac.jp	中村 恵 子	http://jaen.umin.jp
16	日本クリティカルケア看護学会	井上 智 子	113-8519	東京都文京区湯島1-5-45 医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 先端看護看護学看護学分野内		(03)-5803-0156		井上 智 子	http://jacn.umin.jp/
17	日本災害看護学会	山田 覚	781-0111	高知市池田2751-1 高知女子大学看護学部内	(088)-847-8705	(088)-847-8705	takezaki@cc.kochi-wu.ac.jp	竹崎 久美子	http://www.jsdn.gr.jp/
18	日本在宅ケア学会	白澤 政 和	105-0001	東京都港区虎ノ門3-7-2 (株)ワールドプランニング内	(03)-3431-3715	(03)-3431-3325		白澤 政 和	http://plaza.umin.ac.jp/~jahhc/
19	日本手術看護学会	菊地 京 子	113-0033	東京都文京区本郷3-19-7 本郷三宝ビル4F	(03)-3813-0485	(03)-3813-0539	jona@yacht.ocn.ne.jp	星 正 行	http://www.jona.gr.jp/index.shtml
20	日本循環器看護学会	井部 俊 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学 井部俊子研究室内	(03)-5550-2274	(03)-5550-2274	office@jacn.jp	高木 美 穂	http://janap.umin.ac.jp
21	日本小児看護学会	片田 範 子	166-8532	東京都杉並区和田3-30-22 大学生協学会支援センター内 日本小児看護学会事務局	(03)-5307-1175	(03)-5307-1196	jschn@univcoop.or.jp	片田 範 子	http://jschn.umin.ac.jp/
22	日本助産学会	堀内 成 子	111-0054	東京都台東区鳥越2-12-2 日本助産師会館3階	(03)-3865-3032	(03)-3866-3032	jam1987@ninus.ocn.ne.jp	松岡 恵	http://square.umin.ac.jp/jam/
23	日本新生児看護学会	横尾 京 子	734-8553	広島県広島市南区霞1-2-3 広島大学大学院保健学研究科内	(082)-253-4636	(082)-253-4636	yokoo@hiroshima-u.ac.jp	藤本 紗央里	http://square.umin.ac.jp/shinseij/
24	日本腎不全看護学会	水 附 裕 子	231-0013	神奈川県横浜市住吉町1-4 第3白井ビル5-A	(045)-226-3091	(045)-226-3092	uda-jann@yk.rim.or.jp	宇田 有 希	http://www11.ocn.ne.jp/~jann1/
25	日本生殖看護学会	森 明 子	104-0044	東京都中央区明石町10-1 聖路加看護大学内 日本生殖看護学会事務局	(03)-6226-6380	(03)-6226-6380	jsin@slcn.ac.jp	森 明 子	http://jsin.umin.jp
26	日本精神保健看護学会	田中 美恵子	169-0075	東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社内	(03)-5389-6254	(03)-3368-2822	japmhn-post@bunken.co.jp	野末 聖 香	http://www.japmhn.jp/
27	日本赤十字看護学会	濱田 悦 子	150-0012	東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学内	(03)-5485-5777	(03)-5485-5777	jrcsns@redcross.ac.jp	川嶋 みどり	http://jrcsns.umin.ne.jp/
28	日本地域看護学会	村嶋 幸 代	113-0033	東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部地域看護学教室内 日本地域看護学会		(03)-5841-3648	chikango-acd@umin.ac.jp	永田 智 子	http://jachn.umin.jp/
29	日本糖尿病教育・看護学会	嶋 森 好 子	116-0003	東京都荒川区南千住7-24-24-822 日本糖尿病教育・看護学会事務局内		(03)-3802-0860	jadenfish2008@yahoo.co.jp	嶋 森 好 子	http://jaden.umin.ac.jp/
30	日本難病看護学会	牛込 三和子	183-8526	東京都府中市武蔵台2-6 東京都神経科学総合研究所 難病ケア看護研究部門内	(042)-325-3881	(042)-328-7311		牛込 三和子	http://square.umin.ac.jp/intrac/

日本看護系学会協議会会員学会

2010年1月31日現在

学 会 名	理 事 長	学 会 連 絡 先						ホームページアドレス
		郵便番号	学会連絡先住所	学会 TEL	学会 FAX	学会 E-mail	宛先 (担当者)	
31 日本母性看護学会	高 橋 眞 理	228-0829	神奈川県相模原市北里2-1-1 北里大学看護学部内 日本母性看護学会 事務局	(042)-778-9826	(042)-778-9826	jsmn@mcn.ac.jp jsmn@nrs.kitasato-u. ac.jp	竹 明 美	http://www.mcn.ac.jp/bosei/
32 日本慢性看護学会	野 並 葉 子	673-8588	兵庫県明石市北王子町13-71 兵庫県立大学明石キャンパス	(078)-925-9447	(078)-925-0878	chronic.n@cnas. u-hyogo.ac.jp	河 口 て る 子	http://jscicn.com/
33 日本ルーラルナース ング学会	野 口 美和子	329-0498	栃木県下野市薬師寺3311-159 自治医科大学看護学部内	(0285)-58-7512		ynagai@jichi.ac.jp	永 井 優 子	http://www.jasrun.org/
34 日本老年看護学会	中 島 紀恵子	204-0024	東京都清瀬市梅園1-2-3 財)日本看護協会看護教育研究 センター内日本老年看護学会事務局	(042)-492-7122	(042)-492-7213	world@med.email.ne.jp kieko.nakajima@nurse. or.jp	中 島 紀恵子	http://www.rounenkango.com/
35 日本看護医療学会	梶 田 悦 子	461-8673	名古屋市東区大幸南1-1-20 名古屋大学医学部保健学科看護学 専攻内 日本看護医療学会事務局	(052)-719-1922	(052)-719-1922	fonishi@fujita-hu.ac.jp	大 西 文 子	http://www.jsnhc.org/ leftpages/ask/ask.html
36 日本看護倫理学会	高 田 早 苗	651-2103	兵庫県神戸市西区学園西町3-4 神戸市看護大学内 日本看護倫理学会事務局	(078)-794-8050	(078)-794-8050	keiko.hamaguchi@jfc. or.jp	濱 口 恵 子	http://ine.umin.jp/